

# ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H. 2 7 . 1 2 . 3 0

No. 2 7

## カイロ日本人会

日本人がある程度暮らしている都市には、**日本人会**という組織があつて、**在留邦人の親睦やさまざまな情報を提供**したりしています。カイロにも日本人会が組織され、私もその会員になっています。**カイロ日本人学校に入学・編入学するには、日本人であり日本人会の会員であることが条件**となっています。

カイロ日本人会が行っている主な活動は次の通りです。事務局が、私が住んでいるザマレック地区に

- 秋祭り
- ソフトボール、テニス大会
- 図書やDVDの貸し出し
- イベントの紹介
- バザーの開催
- 機関紙「パピルス」の発行
- メールで各種情報の提供

あり、カイロで暮らすうえでとてもお世話になっています。私は、**図書の貸し出し**をよく利用します。カイロでは、日本語の本は手に入りませんし、日本から持ってくるには送料がとても高くつきます。日本人会の本は、大変ありがたいです。

カイロ日本人会の最大のイベントは、**秋祭り**と**ソフトボール大会**です。秋祭りは、10月の下旬に日本人学校を会場に行われ、今年は約750人が来場し、その約半数はエジプト人です。大使館や各企業、そして日本人学校も出店します。内容は射的やヨーヨー釣り、輪投げ

など、お祭りの出店のようなものです。日本人学校は、例年ストラックアウトを出店しています。焼きそばやお好み焼きなどの飲食店もあります。グラウンドの中央には立派なステージがつけられ、そこで様々な出し物が行われます。例えば、エジプト人による日本語での演劇やバンド演奏、子どもたちの歌や踊りもあります。そして、秋祭りですので盆踊りも行われ、お神輿もあります。**エジプト人がたくさんいる以外は、日本のお祭りと変わらない雰囲気**でした。日本人の子どもたちだけでなく、エジプト人がとても楽しんでいたのが印象的でした。

ソフトボール大会は、毎年春と秋の2回開催されます。今年は5月下旬と12月中旬に行われました。8チームが出場し、大使館職員、JICA、日本人学校、その他企業はいくつかのチームに分かれて戦います。春の大会は、気温が上がり相手チームとともに暑さとの戦いにもなりました。4チームずつに分かれ総当たりの予選を行い、上位2チームが決勝戦と3位決定戦に進出します。このソフトボールは特別ルールがあります。ピッチャーは、1.8m以上の山なりのボールを投げなくてはなりません。盗塁やバントは禁止で、打者が打ってから離塁します。試合時間は40分で、出場選手は10人です。

日本人学校チームは、児童・生徒数の減少とともに職員数も減っているため、中学生や運営委員の助けをお願いしています。春の大会では、**予選2位となり3位決定戦に進出して、その試合に勝って3位**になりました。私は、大会前の練習を熱心にやり過ぎたことと、日ごろの運動不足がたたって肉離れを起こし、3位決定戦は出場できませんでした。自分の衰えを実感しました。秋の大会は、春の反省を生かして事前の練習をほどほどにし、大会当日もヒットなどで出塁すると代走を出していただきました。45歳以上は、代走を自由に出せるというルールもあります。試合は、**予選で3勝し決勝戦**に臨みました。5回までのルールなのですが、5回を終了して3-3の同点で延長戦となりました。残念ながら8回裏に1点を取られサヨナラ負けで準優勝でした。

日本人学校チームは、「**ハムシーンズ（エジプトの砂嵐のこと）**」というチーム名です。**ハムシーンズはチームワークがとてもよくて、子どもたちや保護者の皆様も熱心に応援をしてくださり、他チームからうらやましがられています。**ソフトボール大会は、体力的にきついですが、学校関係者の団結力を高め喜びを分かち合える素晴らしい行事です。